

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	旧島崎藤村邸管理事業	担当課・係名	産業観光課観光推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	23
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	町の観光施設として運営・維持管理を行う				
対象 (誰を・何を)	旧島崎藤村邸				
内容	文豪島崎藤村が居住していた町屋づくりの邸宅を、観光施設として提供できるように運営・維持管理を行う				
根拠法令・条例等	大磯町旧島崎藤村邸の設置、管理等に関する条例及び施行規則				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,119	3,775	4,001
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	3,119	3,775	4,001
	職員人数 (概算職員数)	人			0.09
	人件費計 (b)	千円			513
総事業費 (a)+(b)	千円	3,119	3,775	4,514	
事業費内訳 H 25 年度	旧島崎藤村邸管理嘱託員報酬：840千円 消耗品費：19千円 印刷製本費：111千円 光熱水費：410千円 修繕料：170千円 通信運搬費：40千円 各種保守委託料：263千円 運営委託料：2,148千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 来場者	人	10,329	10,387	11,000
	②				
活動指標 (活動量)	① 施設開場日数	日	317	322	328
	②				
成果指標 (達成度等)	① 来場者	人	10,329	10,387	11,000
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当	<input type="checkbox"/> 変更の必要あり	<input type="checkbox"/> その他
	理由	町の観光施設であり維持管理は町で、運営は観光協会に委託している。			
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当	<input type="checkbox"/> 改善の必要あり	<input type="checkbox"/> その他
	理由	町の観光施設であり維持管理は町で、運営は観光協会に委託している。			
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている	<input type="checkbox"/> 得られていない	<input type="checkbox"/> その他
	理由	観光施設としては駐車場等アクセスの問題があるがおおむね良好である。			
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的	<input type="checkbox"/> 非効率	<input type="checkbox"/> その他
	理由	施設が老朽化しており、修繕等が必要な部分が出てきているが低コスト化を図っている。			
	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った	<input type="checkbox"/> 図られていない	<input type="checkbox"/> 図る余地は無い	<input type="checkbox"/> その他
	理由	施設が老朽化しており、修繕等が必要な部分が出てきているが低コスト化を図っている。			
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）			評価理由 施設の老朽化による修繕が必要か。
	<input type="checkbox"/> 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある				

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
生涯学習課と、施設の管理運営のあり方について協議を進める。
② 平成26年度に着手する事項
施設の有料化、邸宅内への入場について検討
③ その他（課題、調整事項等）
文化的な側面の強い施設であるが、その特性を十分に活かした利活用がされていない。観光面からの利活用だけでなく、第一義的な施設の目的から鑑みて、文化的側面を活かした利活用と、そこから派生した観光面での利活用という、文化サイドに軸足を置いた複合的な利活用を考えるべきである。また、藤村邸は木造住宅であり、町指定文化財でもある。費用対効果だけで施設の管理運営を考えると難しい施設である。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

引き続き、効率的な施設の維持・運営を行う。また、今後の利活用に向けて、有料化及び邸宅内への入場についての課題整理や施設の持つ文化的側面も活かした利活用などについて、生涯学習課とともに検討・協議を進める。
